

琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略

ひとが輝き まちが輝く

コトウライフの創生



いきいき定住！

コトウライフ

KOTOURA LIFE

琴浦町人口減対策ロゴマーク

平成27年10月

鳥取県琴浦町

・・・目次・・・

1. 基本方針 **1**

2. 総合戦略の位置づけ **2**

- (1) 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係…………… 2
- (2) 基本的な視点…………… 2
- (3) 総合戦略の策定経過…………… 3
- (4) 計画期間…………… 3
- (5) 総合戦略の位置づけ…………… 3
- (6) 基本目標の設定と施策の推進・検証…………… 3
- (7) 総合戦略のフォローアップ…………… 4

3. 総合戦略の基本テーマ **5**

4. テーマごとの基本目標と具体的施策 **8**

基本テーマ1 コトウラで育む

- 重点項目1 出会いと結婚の希望をかなえる…………… 9
- 重点項目2 子どもを産み育てやすい町づくりの実現…………… 9
- 重点項目3 子どもの能力を伸ばす教育環境の充実…………… 11
- 重点項目4 ふるさとを愛する教育の充実…………… 12

基本テーマ2 コトウラで創る

- 重点項目1 自然の恵みからなる農林水産業の振興…………… 13
- 重点項目2 地元産業の発展と新たな展開…………… 14
- 重点項目3 魅力あるしごとの創出…………… 15

基本テーマ3 コトウラで輝く

- 重点項目1 豊かな自然と文化を生かした観光振興…………… 16
- 重点項目2 女性が輝き、活力を生むまち…………… 17
- 重点項目3 協働によるまちづくり…………… 18
- 重点項目4 ふるさとを支えるひとづくり…………… 18

基本テーマ4 コトウラに根づく

- 重点項目1 移住・定住希望者のIJUターン支援…………… 20
- 重点項目2 健康寿命日本一を目指すまちづくり…………… 21

5. 用語解説 **23**

1. 基本方針

本町は、豊かな自然環境や歴史・文化が根づく、やすらぎにあふれた町です。主要産業である農林水産業では、酪農・畜産をはじめ、数多くの農産物が県下でも有数の生産量を誇っています。また、商工業も県下町村ではトップクラスの生産高・出荷高を誇っており、農商工併進のまちです。住民同士のつながりや人と人の絆の強さを生かし、NPOや地域活動団体が数多く活動し、地域の元気づくりと内外へ魅力を発信しています。保育料の軽減をはじめとして様々な施策により子育てしやすい町を進め、特色ある教育により、ふるさとを愛し、ふるさとを支える「琴浦っ子」の育成に力を注いでいます。介護予防では先進的取り組みを展開し、ウォーキングやポイントラリーなどを取り入れた健康づくりを進めています。山陰道の開通により交通アクセスが向上し、災害被害の少ない地域であることなど、暮らしやすい町としての魅力が高まっています。

反面、若者の県外への流出や出生率の低迷により、町全体で人口減少が進んでいます。農業では後継者不足や遊休・荒廃農地が増加し、その他の産業においても経済基盤の縮小が課題です。中山間地などでは過疎・高齢化により、地域づくりの担い手や推進役の減少に歯止めがかからず、地域の次代を担うリーダー人材の不足や集落規模の縮小により、単独で集落機能を維持するのが困難な地域も現れています。

これらの課題に取り組むため、本町では平成26年2月に琴浦町人口減少対策総合施策（コトウライフ）を策定し、取り組みを行ってきました。地方創生に向けては、これらの施策を受け継ぎ、人口減少に歯止めをかけるとともに、人口減少社会でも持続的で活力ある地域をつくる対策の両軸で取り組んでいきます。琴浦町ならではの特徴・特色をふまえ、「弱み」を見極め、「強み」を伸ばしていくことにより、琴浦町における地方創生の具体化を進めるとともに、将来にわたって活力あるまちを維持するため、中長期的な視点から人口減少対策に取り組みます。

琴浦町総合戦略では、多くの町民の皆様のご意見を集約し、人口ビジョンで示した目標人口を達成するよう、次世代の琴浦町を担う「ひとづくり」を中心に、誰もが地域社会で活躍できる「しごとづくり」、賑わいがあり安心して暮らせる「まちづくり」をすすめ、住民満足度の高いまちを目指します。

町民一人ひとりの「ひと」の活力が、「まち」全体の元気と希望につながるという理念のもと、町の将来像を以下のとおりとします。

琴浦町の将来像

ひとが輝き まちが輝く コトウライフの創生

2. 総合戦略の位置づけ

(1) 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係

国が策定した総合戦略の4つの基本目標と政策5原則等をふまえ、本町の特性を生かした「人口減少問題の克服」と「成長力の確保」を、将来にわたって目指します。

(2) 基本的な視点

琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、国で施行された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、また「琴浦町人口ビジョン」をふまえ、本町の人口減対策及び地域の元気づくりに向けた基本目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

総合戦略の策定にあたっては、地方創生として新たな施策を盛り込む一方で、いま琴浦町で暮らしている町民の皆様へも目を向けた取り組みも重要であると認識し、琴浦町が掲げる将来像「ひとが輝き まちが輝く コトウライフの創生」に向けて、次の3つの視点で一体的に取り組めます。

① まちづくり

「まち」の活性化のためには、地域コミュニティの強化と、住民による主体的なまちづくりへの取り組みが重要となります。地域を元気にしようという志と行動が、まちの活力向上につながっていきます。また、だれもが住み慣れた地域で安心・安全に暮らすために、公共交通や地域拠点の整備、地域防災力の強化を進めるとともに、様々な分野で官民協働や地域間連携を図り、「地域の総合力」が最大限発揮されるまちづくりを進めます。

② ひとづくり

人口減少社会が進む中で、将来にわたってまちの活力を維持するのは、「ひと」の力です。町民一人ひとりがまちを愛し、ふるさとに誇りを持ち、健康で生き生きと暮らすことで、地域に活力を生みます。そして、その姿を見て育った子どもたちは、小さい頃から地域のよさを認識し、まちを支える担い手として育っていくものと考えます。高齢者から若い世代へ、そして生まれくる子どもたちへ、世代を繋いでまちの活力を維持していくために、「ひと」が元気なまちづくりを進めます。

③ しごとづくり

まちの基幹産業である一次産業に活力を与えるとともに、地元産業の更なる発展と活性化を図ります。企業収益の改善が賃金上昇や雇用拡大につながり、消費の拡大等を通じて更なる収益拡大に結び付くという経済の好循環の実現を目指します。

希望や夢を持って起業する若者への支援や、地域の強みを生かした新たな「しごと」の創出を図り、町民が意欲を持って働き、自らが地域経済の一端を担っているという自覚と誇りを持てるようなしごとづくりを進めます。

(3) 総合戦略の策定経過

町長を本部長とする「琴浦町地方創生推進本部」及び産官学労金言など各種団体の代表で構成する「琴浦町地方創生推進会議」において検討を行うとともに、各地域での意見交換会や町民を対象としたアンケートの実施及びパブリックコメントでの意見をふまえ、町の課題整理や基本目標を設定し、施策の推進を図ります。

(4) 計画期間

琴浦町人口ビジョンにおける人口の将来展望をふまえ、2015年度（平成27年度）から2019年度（平成31年度）までの5年間とします。

(5) 総合戦略の位置づけ

この総合戦略は、琴浦町の目指す姿を町民の皆様と共有し、地方創生を実現する取り組みを共に進めるための指針となるものです。

これらの取り組みは、平成19年3月に策定した「第一次琴浦町総合計画」等の各種計画との整合性を保ちながら、地元の産業界や教育機関、金融機関や各種団体、そして町民の方々と共に創り上げ、お互いに役割を分担して進めていきます。

(6) 基本目標の設定と施策の推進・検証

国の総合戦略が示す政策4分野ごとの基本目標（下欄1参照）をふまえ、本町における5年後の基本目標を定めます。この基本目標は、事業そのものの結果（アウトプット）ではなく、その結果として町民にもたらされた便益（アウトカム）に係る数値目標とし、この基本目標の実現に向けた基本的方向と具体的な施策を記載し、施策の効果を客観的に検証できる指標（重要業績評価指標：KPI（Key Performance Indicator））を定めます。

また、町長を本部長とする「琴浦町地方創生推進本部」において、施策の実行的推進を図るとともに、「琴浦町地方創生推進会議」等で定期的に取り組み内容を検証し、改善する仕組み（PDCA サイクル下欄 2 参照）を確立します。

1 国の基本目標

- ① 地方における安定した雇用を創出する。
- ② 地方への新しい人の流れをつくる。
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。

2 PDCA サイクル

- ① Plan：数値目標・客観的な指標を設定した効果的な地方版総合戦略を策定する。
- ② Do：地方版総合戦略に基づく施策を実施する。
- ③ Check：数値目標や客観的な指標の達成度を通じて、地方版総合戦略の成果を客観的に検証する。
- ④ Action：検証結果をふまえて施策を見直すとともに、必要に応じて地方版総合戦略を改訂する。

(7) 総合戦略のフォローアップ

本町は、琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、「まち・ひと・しごと創生」に早期に着手します。

今後は、鳥取県の総合戦略等との整合を図りながら、広域的な連携を進めるとともに、国が平成 27 年度から提供する「地域経済分析システム（RESAS）」による詳細な経済分析や平成 27 年度に実施する国勢調査の結果、さらには、今後引き続き実施する本町の現状分析・各種意向調査等の結果、及び社会情勢や町民のニーズをふまえ、随時必要な見直しを行います。

また、施策の推進にあたっては、地方創生先行型交付金等の国の財政支援制度や鳥取県版地方創生コンシェルジュ制度などの人的支援制度など、国や県の支援制度を積極的に活用していきます。

3. 総合戦略の基本テーマ

国の総合戦略並びに琴浦町人口ビジョン、さらには平成26年2月に策定した琴浦町人口減対策総合施策（コトウライフ）をふまえ、本町の特性を生かし、次の4つを基本テーマとして施策を進めます。



基本テーマ1 コトウラで**育む**

～地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり～

未来の琴浦町を担っていくのは、子どもたち「琴浦っ子」です。

本町では、独身者の増加や晩婚化の進行、また結婚しても教育費など経済的な不安により希望する子どもの数を実現できないなどの理由から、出生率が低迷しています。結婚・出産・子育てを望む人が、安心してその希望を叶えることのできる仕組みづくりを進めます。

また、ワーク・ライフ・バランス（※1）の推進や働きやすい職場づくりなど仕事と育児の両立支援や、まち全体で子育てを応援する社会環境を整備します。

そして、子どもたちに地域のよさを伝え、豊かな自然の中で様々な経験を積むことにより、ふるさとに愛着と誇りを持ち、活力に満ちた人材を育てる取り組みを進めます。

基本テーマ2 コトウラで**創る**

～安定した就労環境の整備と、魅力あるしごとづくり～

琴浦町における人口減少は、出生率の低下に加え、転出超過による社会減少が主な要因となっています。地域に希望する職場がなく、しごとを求めて県外へ転出したり、進学で転出したまま都会で就職したりすることで若者の流出が進み、若い世代の地域への定着が難しい状況です。また、人口減少により、産業の担い手不足や、消費者減少による地域経済の衰退も懸念されます。

若い世代が定着するためには、安定したしごとを持ち、経済的に自立し、希望を持って社会で活躍できる環境が必要です。そのために、魅力あるしごとの創出や起業・創業支援に取り組みます。

豊かな自然の恵みからなる一次産業では、経営者の高齢化や後継者不足への対策が必要です。農業では、遊休農地の増加による自然への影響も懸念され、農産物のブランド化や頑張る農家への支援、遊休農地等を活用した新たな取り組みを進めていきます。また、地元産業の安定経営と発展、販路拡大等によるブラッシュアップを図ります。

一人ひとりが地域経済の一端を担っているという自覚と誇りを持ち、活力にあふれたしごとの創生を目指します。

基本テーマ3 コトウラで輝く

～ふるさとの魅力を誇り、生き生きと輝くひとづくり～

琴浦町には自然を生かした名所や、歴史・文化が息づく史跡など、多くの観光地があり、地域に根づく伝統芸能も数多くあります。

この魅力を町民自らが認識し、ふるさとを誇りに思う気持ちの醸成を進め、地域における伝統芸能の継承や協働によるまちづくりを進めていきます。その中で、住民の絆づくりと活力ある次世代の人材育成に取り組みます。

観光では、鳥取県中部エリアへの誘客を推進する広域観光組織（日本版DMO※2）を整備し、中部圏域の魅力を活かした周遊性のある取り組み、及びインバウンド（※3）への取り組み等を支援することにより、鳥取県中部圏域への観光誘客を促進します。そして、交流人口の増加による地域経済の活性化を目指します。

また、女性が地域や社会でその能力を発揮して活躍することで、まちに活力を生みます。ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画の推進など、女性が輝く社会に向けての取り組みも進めます。

活力あるまちは、そこに住む「ひと」が築き上げるものと考えます。住民一人ひとりが主体的にまちづくりに関わり、「ひと」が輝くことで「まち」全体が輝く、人口減少社会の中でも生き生きと暮らせるまちづくりを目指します。

基本テーマ4 コトウラに根づく

～だれもが健康で、心豊かに暮らせるまちづくり～

琴浦町では高齢化率が3割を超え、今後も少子高齢化の人口構造が続く見込みであり、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせることが必要です。

介護予防・認知症予防に加え、元気な高齢者が地域社会で活躍する仕組みづくりが必要となります。そして、健康寿命の向上とともに、障がいのある方等を含め、あらゆる町民が健康で心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。

若い世代の移住・定住を進めるために、空き家の活用や家賃助成など、IJUターンへの支援を充実させます。暮らしやすいまちを発信し、幅広い世代の定住を目指します。そして、進学などで県外に出た若者が「暮らしたい」と思えるまちづくりに取り組みます。

町民一人ひとりが地域で安心して暮らし、地域に根づき、生き生きと輝いて過ごすことで、まち全体の活力向上につながります。そして、その背中を見て子どもたちが育つことで、ふるさとへの想いが育ち、次世代のまちを担う若者が育っていくものと考えます。

4. テーマごとの成果目標と具体的施策

総合戦略における目標を、各テーマごとに設定し、地方創生の実現に向けて各施策を総合的に推進します。

■テーマごとの重点項目と成果目標

1 コトウラで育む		地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり
重点項目 1 出会いと結婚の希望をかなえる 2 子どもを産み育てやすいまちづくりの実現 3 子どもの能力を伸ばす教育環境の充実 4 ふるさとを愛する教育の充実	○事業実施による成婚数 15組（平成27年度から平成31年度の累計） ○合計特殊出生率 1.71（平成31年度数値） ○25歳時点における町内定着率 80%（平成31年度数値）	
2 コトウラで創る		安定した就労環境の整備と魅力あるしごとづくり
重点項目 1 自然の恵みからなる農林水産業の振興 2 地元産業の発展と新たな展開 3 魅力あるしごとの創出	○農林水産業関連への新規就業者 30人（平成27年度から平成31年度の累計） ○新規起業者数 9件（平成27年度から平成31年度の累計）	
3 コトウラで輝く		ふるさとの魅力を誇り、生き生きと輝くひとづくり
重点項目 1 豊かな自然と文化を生かした観光振興 2 女性が輝き、活力を生むまち 3 協働によるまちづくり 4 ふるさとを支えるひとづくり	○観光入込数 92万7千人／年（平成31年度数値） ○地域課題解決のための活動数 150回／年（平成31年度数値）	
4 コトウラに根づく		だれもが健康で心豊かに暮らせるまちづくり
重点項目 1 移住・定住希望者のIJUターン支援 2 健康寿命日本一を目指すまちづくり	○社会移動による人口減少数 △200人（平成27年度から平成31年度の累計） ○健康寿命の延伸 1.0歳延伸（平成27年度と平成31年度の比較）	

基本テーマ1 コトウラで育む

地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり

- 出会いや結婚・出産を希望する人を総合的に支援するとともに、安心して子育てできる環境を整え、出生率の向上を目指します。
- 保育制度の充実や職場の意識啓発・環境整備の推進等により、育児と仕事の両立支援を図り、まち全体で子育てを応援する地域社会の実現を目指します。
- 子どもの能力を育てる特色ある学校教育の充実と、ふるさとに誇りと愛着を持つ人材を育てるための「ふるさと塾」を推進し、未来を担う「琴浦っ子」を育成します。

重点項目1 出会いと結婚の希望をかなえる

(1) 縁結び・婚活事業の充実

結婚を希望する若い世代等を対象に、企業や広域連合との連携による男女の出会いの場の提供や、結婚に対する意識の向上を目的としたセミナー等を開催します。また、仲人の役割を果たす縁結びコーディネーターを活用した相談会や独身者のマッチング等を行います。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
事業による成婚者数	15組 (5年間累計)	5組 (H27まで)
結婚に関するセミナー及びイベント町内参加者数	150人 (5年間累計)	— (実績値なし)

<具体的な取り組み>

- ・婚活イベントの実施
- ・縁結びコーディネーターの活用

重点項目2 子どもを産み育てやすいまちづくりの実現

(1) 子育て世代の経済的支援

子育て世代の負担を軽減するため、財政的支援及び子育て環境整備を行います。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
出生数	592 人 (5 年間累計)	117 人 (H25 実績値)
第 3 子以降の出生数	135 人 (5 年間累計)	27 人 (H26 実績値)
保育サービスに満足している保護者の割合	70% (H31 数値)	53% (H25 実績値)

<具体的な取り組み>

- ・ 特定不妊治療費の助成
- ・ 妊婦・乳幼児健診の充実
- ・ 第 3 子以降出産祝金の交付
- ・ 保育料の軽減 (第 2 子以降保育料無料)
- ・ 保育の質向上を目的とした研修等の実施
- ・ 医療費助成制度の拡充
- ・ 高校生通学費の助成
- ・ 進学奨励金の給付
- ・ 就職促進奨励金の給付
- ・ 若年層に対する住宅家賃低廉化

(2) 楽しく子育て・親育て支援

産前・産後の母親へサポートとともに、子育てへの不安や負担感へ寄り添い、必要な支援を行うことでその軽減を図り、子育てを楽しめる社会の実現を図ります。

また、発達障がい等のある子どもへの支援を充実させます。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
育児にストレス・悩みを抱えていない保護者の割合	1 歳 6 カ月児 : 50% 3 歳児 : 60% (いずれも H31 数値)	1 歳 6 カ月児 : 40.6% 3 歳児 : 50.4% (いずれも H26 実績値)

<具体的な取り組み>

- ・ 乳児 (0 歳児) 家庭保育支援給付金の交付
- ・ 乳児及び妊産婦に対する健康支援
- ・ 産後ヘルパーの派遣
- ・ すくすくことうらプロジェクト
- ・ 3 世代同居のための住宅リフォームに対する助成

(3) 勤労世帯の子育て支援

育児と仕事の両立支援の取り組みを進めるとともに、育児休業制度の整備や子育てへの理解と意識向上など、企業等の協力を得ながら、働きながら子育てをしやすい社会の実現を図ります。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
育児中に働きやすいと感じる人の割合	70%（H31 数値）	50%（H25 実績値）
育児休業取得向上事業の利用件数	25 件（5 年間累計）	5 件（H27 実績値）

<具体的な取り組み>

- ・育児休業取得に対する支援
- ・休日保育・病後児保育の実施
- ・ファミリーサポートセンターの充実
- ・放課後児童クラブの充実

重点項目 3 子どもの能力を伸ばす教育環境の充実

(1) 安心して学べる学校環境の充実

琴浦独自の魅力と特色ある学校教育を進めるとともに、発達障がい等のある児童・生徒への支援を強化します。

また、いじめや不登校等に対する外部機関と連携した対応・支援により、安心して学べる学校環境を整備します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
全国学力テストの平均点	全国学力テストで全国及び県平均以上を維持、得点上昇（H31 数値）	全国及び県平均以上（H27 実績）
不登校児童・生徒数	H26 年度より減少（H31 数値）	— （町単位での数値は非公開）
特別支援教育活動コーディネーターの配置人数	2 人（H31 時点）	1 人（H27 時点）

<具体的な取り組み>

- ・脳活・スキルアップ学習（※4）の拡充
- ・魅力、特色ある教育体制の整備（ICT 機器の整備と利活用の推進）
- ・鳥取県中部子ども支援センターとの連携
- ・教育相談員やスクールカウンセラー等の設置
- ・発達障がい等への支援や通級教室の設置
- ・学校支援ボランティアの活用
- ・家庭教育の支援及び推進

重点項目4 ふるさとを愛する教育の充実

(1) ふるさとへの誇りと愛着の醸成

自然や農林水産業への体験活動や食育を通じて、子どもの頃からふるさとの素晴らしさを認識し、ふるさとへの関心と誇りを育てます。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
琴浦町に愛着を持つ中学生の割合	アンケートによる数値が毎年前年度を上回る	－ (実績なし)

<具体的な取り組み>

- ・学校教育におけるふるさと学習の充実 (あいラブ琴浦)
- ・ことうらのよさを認識できる活動機会の創出
- ・農産物の栽培体験などを通じた「生きる力」や「ふるさと愛」の育成

(2) 文化・芸術・遊びを通じた子どもの心の育成

子どもの頃から文化や音楽などに触れる機会を提供するとともに、公園などの環境整備を行い、芸術や遊びを通じた心と体の育成を図ります。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
授業以外で芸術文化活動に年1回以上触れた児童・生徒の割合	アンケートによる数値が毎年前年度を上回る	－ (実績なし)
芸術体験の実施	町内全小中学校で実施	町内全小学校で実施

<具体的な取り組み>

- ・芸術体験 (青少年劇場、とっとりの芸術宅配便、舞台芸術体験事業等)
- ・カウベルホールを活用した幼児の音楽活動体験の実施
- ・土曜学習の充実
- ・遊びを通じたひとづくり
- ・子どもの遊び場環境の整備

安定した就労環境の整備と魅力あるしごとづくり

- 安定的な所得が得られる就業の場や、若者が魅力を感じるしごとをつくりまします。
- 本町の主要産業である農林水産業の基盤強化や、担い手の確保・育成に取り組みまします。
- 琴浦ブランドの発信や地域産業の競争力を高め、更なる発展を支援まします。

重点項目1 自然の恵みからなる農林水産業の振興

(1) 遊休農地の解消と担い手の育成

農林水産業における I J U ターン者への支援や、後継者の確保・育成のための取り組みを行い、一次産業への就業増加を目指まします。

遊休農地や耕作放棄地の有効活用を図るとともに、認定農業者・集落営農組織・農業法人等の育成を推進まします。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
農林水産業への新規就業者数	30 人 (5 年間累計)	1 人 (H26 実績値)
農業生産法人数	16 組 (H31 時点)	13 組 (H26 までの実績値)
遊休農地面積	35.0 h a (H31 数値)	38.4 h a (H26 実績値)

<具体的な取り組み>

- ・遊休農地の解消と活用
- ・農林水産業への新規就業支援
- ・ I J U ターン者の就農支援 (半農半 X ※5)
- ・農業生産法人化の推進

(2) がんばる農家等のチャレンジ支援

農林水産業の規模拡大や安定生産体制の構築、地域の特色を生かした特産物の開発・育成など、新たな取り組みを支援まします。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
地域プラン (※6) 品目の作付け面積 (ブロッコリー、ミニトマト、芝)	550ha (H31 数値)	530.6ha (H26 実績値)
芝の作付け面積	310.0ha (H31 数値)	306.0ha (H26 実績値)
乳牛 (経産牛) 飼育頭数	2,250 頭 (H31 数値)	2,100 頭 (H26 実績値)
琴浦町における生乳生産量	21,000 t (H31 数値)	19,650 t (H26 実績値)

<具体的な取り組み>

- ・規模拡大農業者への支援
- ・畜産クラスター事業 (※7) ・デイリータウン構想 (※8) の推進
- ・農業法人化の推進
- ・芝産地の活性化を目的とした生産機械の開発
- ・水産業振興対策
- ・地どれ認定シールの作成助成

重点項目 2 地元産業の発展と新たな展開

(1) 琴浦ブランド化の推進と販路拡大

本町の主要産業である一次産業の基盤を強化し、農業所得の向上に努めます。

高品質を誇る牛乳や和牛の安定した生産や水産業の振興を図り、「食のるつぼ琴浦」による町産品の発信と首都圏における販路拡大を進めます。

また、琴浦ブランド化の推進と地域産業の競争力を高め、更なる発展を支援します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
ことうら商品の新規契約件数	5 件 (5 年間累計)	1 件 (H27 実績値)
和牛優良血統牛 (白鵬 85-3、百合白清 2) 町内保有頭数	10 頭 (H31 時点)	2 頭 (H26 時点)
各生産部の販売額 (ブロッコリー、ミニトマト、芝、梨)	2,100,000 千円 (H31 数値)	2,030,116 千円 (H26 実績値)
海外の新規契約件数	3 件 (5 年間累計)	— (実績なし)

<具体的な取り組み>

- ・農林水産物の 1 次加工 (※9) や 6 次産業化 (※10) の推進
- ・ことうら商品の販路開拓
- ・海外への販路開拓
- ・町内企業のブランド化推進

- ・和牛ブランドの確立
- ・牛乳のまちことうらのPR
- ・インターネット販売の支援

重点項目3 魅力あるしごとの創出

(1) 企業誘致の推進と新たなしごとの創出

企業誘致の推進と、起業・創業を目指す若者の支援など、新たな雇用の場の創出に取り組みます。

森林資源を活用した自然エネルギーや里山資源など、再生可能エネルギー（※11）について、技術進歩を見ながら活用を検討します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
新規起業件数	9件（5年間累計）	1件（H27実績値）
町内事業所の従業員数	6,600人（H31数値）	6,535人（H26実績値）
新規企業誘致件数	1件（5年間累計）	－（実績なし）

<具体的な取り組み>

- ・雇用促進奨励助成金の給付
- ・町内企業のお業種転換に対する支援
- ・起業家への支援
- ・企業誘致の推進
- ・大学を活用した就職支援
- ・再生可能エネルギーの活用

(2) しごとを通じた生きがいくくり

障がいのある人や引きこもりの若者、生活困窮者などの就労を支援し、働くことで生きがいや活力の創出を目指します。

また、高齢化が進む中で、働く意欲のある元気な高齢者が増加していくことから、シルバー人材センターなどを活用した高齢者に対する就労支援を行います。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
一般就労への移行者数	10名（5年間累計）	－（実績なし）

<具体的な取り組み>

- ・ワーキングコディネーターの設置
- ・障がい者雇用の推進
- ・高齢者への就労支援

ふるさとの魅力を誇り、生き生きと輝くひとづくり

- 豊かな自然や歴史・文化の息づく琴浦町の魅力を広く発信するとともに、食素材を生かした特色ある観光振興を推進します。
- 鳥取県中部エリアへの誘客を推進する広域観光組織（日本版DMO）を整備し、中部圏域の魅力を生かした周遊性のある取り組み、及びインバウンドへの取り組み等を支援することにより、鳥取県中部圏域への観光誘客を促進します。
- 住民が主体となった地域課題の解決や活性化に向けた取り組みを支援し、新しい自治の仕組みと地域の元気づくりを進めます。

重点項目 1 豊かな自然と文化を生かした観光振興

(1) 自然・歴史・文化の継承と地域資源の活用

恵まれた自然環境や歴史、文化など本町の地域資源を守り伝承するとともに、その活用を推進し、その魅力をさらに高めることで特色ある観光振興を図ります。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
新たな観光商品の開発件数	3 件 (5 年間累計)	－ (実績なし)

<具体的な取り組み>

- ・地域伝統の継承に対する支援
- ・町内文化的財産を活用した観光振興
- ・町の食材を生かした伝統料理発掘及び活用
- ・ことうらの海と町魚「アゴ」の活用

(2) 観光振興による交流人口の増加

観光資源や豊富な食素材・グルメなど既存観光商品のブラッシュアップを図るとともに、物産館ことうら周辺を整備することで交流人口の増加を図り、賑わいと活力を創出します。新たな魅力発掘と発信、着地型・滞在型の観光ルートづくりを推進します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
年間観光入込客数	92 万 7 千人 (H31 数値)	71 万 3 千人 (H26 実績値)

<具体的な取り組み>

- ・特急列車停車促進と観光総合窓口の設置
- ・物産館ことうらの周辺整備
- ・アーチェリーによるまちづくり

(3) 広域観光の推進

鳥取県中部地域が連携して、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図るための広域観光組織「日本版DMO」を整備し、インバウンド受け入れ対応事業並びに旅行業の資格取得・派遣業務を実施するとともに、ATC及びWTC（※12）開催に向けた取り組みを行います。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
鳥取県中部圏域観光入込客数	260万人（H31 数値）	210万7千人（H25 実績値）

<具体的な取り組み>

- ・鳥取中部ふるさと広域連合を中心とした広域観光の推進
- ・アジアトレイルズカンファレンスの共催
- ・ワールドトレイルズカンファレンスの共催
- ・名探偵コナンミステリーツアーの共催

重点項目2 女性が輝き、活力を生むまち

(1) ワーク・ライフ・バランスの推進と女性の活躍促進

女性はその能力を発揮し、職場や地域で生き生きと活躍できる社会の実現を目指します。

ワーク・ライフ・バランスや男性の育児参加への理解と意識を促進するとともに、企業と連携して仕事と家庭の両立や地域活動に参加できる職場環境づくりを推進します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
男女共同参画推進企業数	20企業（H31 時点）	14企業（H26 時点）
自治会役員における女性の割合	40%（H31 数値）	20.5%（H27 実績値）
男性の育児休業取得による奨励金対象者数	30人（5年間累計）	－（実績なし）

<具体的な取り組み>

- ・男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスの推進
- ・輝く女性の広報及びPR

- ・育児休業取得奨励金の交付

重点項目3 協働によるまちづくり

(1) まちづくり団体等への支援による地域活性化の推進

住民による地域課題の解決や活性化に向けた主体的な取り組みを支援するとともに、琴浦まちづくりネットワークの運営支援や輝け地域支援事業の業務委託、自治会活動の支援を充実させることにより、地域活性化団体や自治会の活動の発展を促進します。

地域の核となって活動する若手組織の育成や、地域おこし協力隊を活用した地域の元気づくりを進めます。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
地域おこし協力隊の定住人数	3人 (5年間累計)	－ (実績なし)
地域活性化団体の課題解決に向けた取り組み事業数	20回 (H31 数値)	－ (実績なし)
自治会による地域振興事業実施回数	130回 (H31 数値)	－ (実績なし)

<具体的な取り組み>

- ・まちづくり団体への支援
- ・青年組織連絡協議会の設置
- ・地域おこし協力隊の活動推進
- ・自治会活動の推進
- ・地域におけるまちづくり活動の推進

重点項目4 ふるさとを支えるひとづくり

(1) 地元リーダー育成の推進

ふるさとを支え、地元を引っ張るリーダーを育成し、地域の活性化を進めます。

また、様々な取り組みを進めるにあたり、各分野・各地域における人材の発掘や育成、活躍を支援します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
ふるさと創生塾生数	60人/年 (H31 数値)	－ (実績なし)

<具体的な取り組み>

- ・ふるさと創生塾の設置

(2) 青少年が主役のまちづくり支援

子ども会活動の充実と中高生の活動の場の創出により、青少年の社会参加意識の向上やまちづくりへの関心を引き出します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
子ども会リーダー研修参加率	70% (H31 数値)	35% (H26 実績)
中高生サークルの設置数	1 団体 (H31 時点)	— (実績なし)

<具体的な取り組み>

- ・子どもたちが主体となった活動の推進
- ・ジュニアリーダーの育成
- ・船上山少年自然の家を活用した宿泊体験及び合宿誘致

基本テーマ4 コトウラに根づく

だれもが健康で心豊かに暮らせるまちづくり

- 体験ツアーやふるさとの魅力発信により、IJUターン者の増加を目指します。
- 認知症予防の更なる推進と目標を明確化した健康事業の展開により、健康寿命日本一を目指します。

重点項目1 移住・定住希望者のIJUターン支援

(1) コトウラ体験等による移住・定住促進

琴浦町での生活を体験するツアーやお試し住宅（※13）の活用、地域の人との交流により住みやすさを実感することで、移住希望者の増加を目指します。

ふるさとの魅力を再確認し、ふるさと愛を育むとともに、町のイメージアップや就職支援のための情報発信を強化し、若者のUターンを促進します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
移住定住ツアー参加者の移住定住者数	移住定住コース 10人 就農体験コース 5人 (いずれも5年間累計)	－（実績なし）
人口の社会増減数	△200人（H27→H31累計）	△272人（H22→H26累計）

<具体的な取り組み>

- ・移住定住に向けたコトウラ暮らし体験ツアーの実施
- ・移住定住アドバイザーの設置
- ・コトウラ暮らしお試し滞在住宅の活用
- ・Uターン促進を目的とした25歳を対象とする同窓会の開催支援
- ・町出身者に対する情報提供
- ・Uターン者を対象とした奨学金返還の助成
- ・琴浦町のよさを題材とした写真コンテストの開催
- ・琴浦町のイメージアップPR

(2) 空き家の活用や宅地にかかる移住・定住促進

移住・定住希望者の住居の確保を支援するとともに、空き家の利活用を進めます。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
空き家ナビ (※14) 登録件数	60 件 (H31 時点)	30 件 (H27 時点)
空き家を活用した移住定住件数	25 件 (5 年間累計)	5 件 (H27 までの実績値)

<具体的な取り組み>

- ・きらりタウン赤碕・槻下団地分譲地購入者に対する助成
- ・定期借地権の設置
- ・空き家の利活用
- ・宅地情報の提供
- ・新築・中古住宅の固定資産税減免措置
- ・新婚家庭への家賃助成

(3) 地域の拠点の整備促進

町民が主体となった地域の拠点づくりを推進するとともに、生活に必要なサービス機能の集約や都市部のアクティブシニア (※15) の活躍の場づくりについて検討します。

また、統合等による空き校舎、空き園舎などの公共施設の有効活用を図ります。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	基準値
地域協議会の拠点地区数	5 地区 (H31 時点)	2 地区 (H26 時点)

<具体的な取り組み>

- ・地域の拠点整備促進
- ・コンパクトビレッジ構想 (※16)
- ・コトウラ C C R C (※17) 構想の検討

重点項目 2 健康寿命日本一を目指すまちづくり

(1) 健康に生きるまちづくり

認知症予防先進地として、ライフステージに応じた介護予防の更なる取り組みを進めます。

ウォーキングや体操などを取り入れ、健康の数値化により目標を明確化した健康事業を展開し、健康寿命日本一を目指します。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
健康診断結果の有所見者数割合	高血糖 14%（H31 数値） 高血圧 29%（H31 数値） 肥満 14%（H31 数値）	高血糖 16.4%（H26 実績値） 高血圧 31.6%（H26 実績値） 肥満 19.8%（H26 実績値）
1日1時間以上歩行・運動実施者の割合	35%（H31 数値）	健診問診結果（H25 実績値） 協会けんぽ加入者：24.2% 国保加入者：19.3%
新わくわくことうら体操を毎日する人の割合	20%（H31 数値）	－（実績なし）
高齢者クラブの加入率	36%（H31 数値）	26%（H27 実績値）
75歳以上の介護認定率	23.5%（H31 数値）	28.5%（H27 実績値）

<具体的な取り組み>

- ・健康づくり施設の整備
- ・ウォーキングの推進
- ・認知症予防の推進
- ・ライフステージに応じた介護予防
- ・食を通じた健康づくり

(2) 安心・安全で暮らせるまちづくり

中山間地域や高齢化の進んだ地域において安心な暮らしを維持するとともに、地域のニーズに即した多様な交通サービスを展開する取り組みを進めます。

防災意識の向上を図るとともに、自主防災組織の結成を促進し、災害に強いまちづくりに取り組みます。

また、人権意識の向上に向けた取り組みにより、誰もが大切にされ、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

○本施策における成果目標

重要業績評価指標（KPI）	目標値	基準値
自主防災組織結成率	50%（H31 時点）	20%（H26 時点）
安心・安全に暮らせるまちであると感じる人の割合	80%（H31 数値）	－（実績なし）

<具体的な取り組み>

- ・公共交通ネットワークの整備
- ・自主防災組織の強化
- ・中山間地域の活性化
- ・多世代交流の推進
- ・図書館を活用した情報発信
- ・人権意識の向上

5. 用語解説

1. **ワーク・ライフ・バランス**・・・仕事と生活の調和。やりがいのある仕事と充実した私生活を両立させるという考え方。
2. **日本版DMO**・・・(Destination Management/Marketing Organization の略) 地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS 等を活用した情報発信・プロモーション、効果的なマーケティングや戦略策定等を行う観光地域づくりの推進組織。
3. **インバウンド**・・・海外から日本を訪れること。
4. **脳活・スキルアップ学習**・・・子どもたちの基礎的な学力向上を図るため、簡単な読み書き計算の反復学習等により、脳を活性化させる学習のこと。
5. **半農半X**・・・半自給的な「小さな農業」を営みながら、自分が大切に思うことや好きな仕事をして一定の生活費を得るといった新しいライフスタイルのこと。
6. **地域プラン**・・・広域、市町村、集落といった「地域」において、将来の目指す姿等に向け、話し合いなどにより作成した計画のこと。
7. **畜産クラスター事業**・・・畜産農家をはじめ、地域の関係事業者が連携・結集し、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための体制のこと。
8. **デイリータウン構想**・・・酪農産業全体の振興を図るため、行政と関係機関が連携して、生産拡大から流通・販売までのシステムを構築する取り組み。
9. **1次加工**・・・農畜水産物を直接の原料として、その性質を大きく変更することなく処理・加工を行うこと。
10. **6次産業化**・・・第1次産業である農林水産業が、農林水産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売や観光農園のような地域資源を生かしたサービスなど、第2次産業や第3次産業にまで踏み込むこと。
11. **再生可能エネルギー**・・・自然の営みから半永久的に得られ、継続して利用できるエネルギー（水力、地熱、太陽熱、風量、バイオマスなど）のこと。
12. **ATC及びWTC**・・・(Asia Trails Conference ,World Trails Conference の略) アジア及び世界各国のウォーキング・トレッキング関係者が集う国際会議。Trail（トレイル、舗装さ

れていない道)を資源として保護・活用する団体が集まり、道の保護・保全や健康づくり、観光面への活用などを話し合う。

13. お試し住宅・・・・・・・・・・ 県外から IJU ターンを検討されている方に町の暮らしを実感していただくため、町が古民家を改修したもの。生活体験や住宅・仕事探しの拠点として利用し、町への移住を促すことを目的とする。
14. 空き家ナビ・・・・・・・・・・ 町内の空き家の有効活用と、定住促進による地域の活性化を図るため、町がインターネット上に設置した空き家情報登録システム。
15. アクティブシニア・・・・・・・・ 自分なりの価値観をもち、定年退職後にも、趣味やさまざまな活動に意欲的な、元気なシニア層をさす。
16. コンパクトビレッジ構想・・・・ 必ずしも生活に必要な施設を中心に集約・整備するものではなく、旧小学校区を範囲とした生活圏で生活に困らないための仕組み。
17. CCRC・・・・・・・・・・ (Continuing Care Retirement Community の略) 米国発祥の暮らし方「継続的なケア付きリタイアメントコミュニティ」の略。日本版 CCRC は、高齢者が健康で自立して生活できるうちに入居し、社会活動に参加し、介護が必要になった場合も医療を受けながら暮らし続ける仕組み。